滋賀県のあらまし

滋賀県の地勢

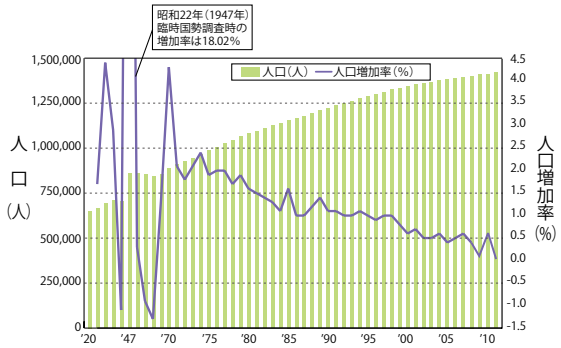
滋賀県は日本列島のほぼ中央に位置し、北は福井県、東は岐阜県、南東は三重県、西は京都府と接しています。

面積は国土の総面積の約1%を占めており、中央には県土の総面積の約6分の1を占める、わが国最大の湖である琵琶湖があり、周囲を伊吹、鈴鹿、比良など1,000mを超える高い山々に囲まれています。

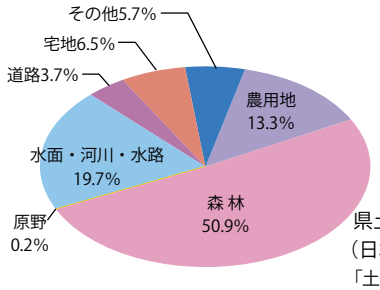
琵琶湖の周辺はこれらの山々から流れ出る大小の河川が扇状地や三角州をつくりながら湖に注ぎ、近江盆地を形成しています。

人口の変化

平成23年(2011年)10月1日現在の県の推計人口は1,414,398人です。人口増加率は低下傾向にあるものの、全国を上回って推移しており、全国の推計人口が減少に転じた中で、数少ない人口増加県となっています。



土地利用の状況 (平成22年(2010年)10月1日時点)



県土面積　4,017km²
（日本の国土の約1%）
「土地利用現況把握調査」より作成

琵琶湖の特徴

琵琶湖の最も狭くなったところに琵琶湖大橋があり、これより北側を北湖、南側を南湖といい、両者は様々な面で性格が異なっています。

琵琶湖には、大小約460本の河川が流れこみ、瀬田川と人工の琵琶湖疏水から流れ出します。計算上、湖の水が全部入れ替わるには約19年かかります。

琵琶湖は日本最古の湖でもあります。今の湖は100万年以上昔にでき始め、祖先となる湖を含めると400万年もの歴史をもつ世界有数の「古代湖」です。長い歴史と変化に富む環境をもつ琵琶湖は生物相が豊かで、約600種の動物と約500種の植物が生息し、ビワマスやセタシジミなどの固有種も多く見られます。

●古代湖

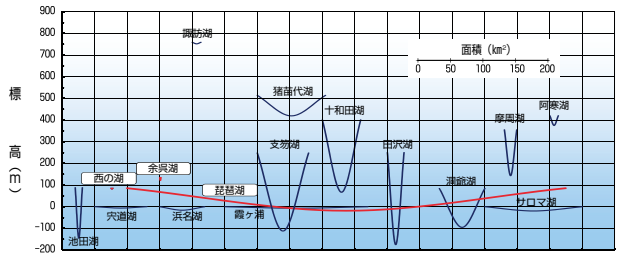
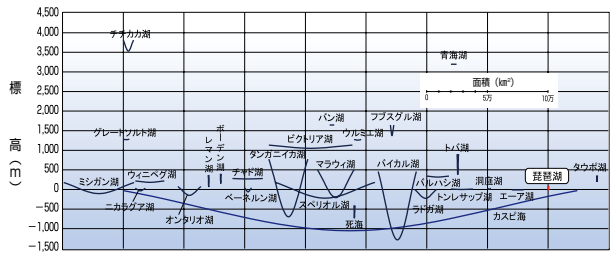
例外的に寿命の長い湖で、多くの固有種が進化する場です。バイカル湖やタンガニイカ湖など、世界中で20ほどの湖が古代湖として知られています。

●固有種

限られた地域・水域にしか分布しない生物のこと。琵琶湖は、日本でも抜きん出て固有種の多い湖で、60種以上が知られています。

琵琶湖の集水域		3,174㎢
琵琶湖の大きさ	面積	670.25㎢ （北湖：南湖＝617.75㎢：52.50㎢＝11:1）
	南北の延長	63.49km
	最大幅	22.8km
	最小幅	1.35km
	周囲	235.20km
水深	最も深いところ	103.58m
	平均の深さ	41.20m
貯水量		275億㎥ （北湖273億㎥、南湖2億㎥）

◆国内の主な湖沼の特徴（面積、深さ、標高）の比較



◆世界の主な湖沼と琵琶湖の特徴（面積、深さ、標高）の比較